

10. 十戒(じっかい)

紀元前 1500 年 神ご自身の手で二枚の石の板にお書きになる。(申命記 4:13)。
出エジプト記 20 章、申命記 5 章

断定命令形→「するはずがない」「するにちがいない」

- 1条 「わたしの他になものも神としてはならない」
- 2条 「刻んだ像を造って、…それにひれ伏してはならない」
- 3条 「主の名を、みだりに唱えてはならない」
- 4条 「安息日を覚えて、これを聖とせよ」
- 5条 「あなたの父と母を敬え」
- 6条 「あなたは殺してはならない」
- 7条 「あなたは姦淫してはならない」
- 8条 「あなたは盗んではならない」
- 9条 「あなたは隣人について、偽証してはならない」
- 10条 「あなたは隣人の家をむさぼってはならない」

1. 十戒は継続された神の国の原則 創世記 18 : 19 ヤコブ 2 : 8-12
2. 十戒はイエス・キリストのご品性 マタイ 5 : 17
「地上における愛の生涯の初めから終わりまで、自己を犠牲にされた贖い主は、神の律法の性格の生きた表現であった」(『祝福の山』 61 頁)。
3. 十戒は救いの手段ではない ガラテヤ 2 : 16
4. 十戒は幸福の条件 申命記 6 : 3
「十戒は、禁止の側面から見られているほどに、慈悲の側面からは見られていない。その禁止は、従うことによる幸福の確かな保証である。私たちがキリストにおいて十戒を受け入れるとき、それは永遠に喜びをもたらす品性の純粋さを私たちの中に生じさせる。」(『セレクトッド・メッセージ』 第 1 巻 234、235 ページ、英文)。
5. 十戒は霊的な戒め 自力では守れない ローマ 7 : 14~18
「人間は自分の力ではこの律法を守ることができない。人間の性質は墮落し、ゆがんでおり、神のご品性とはまったく似ても似つかなくなっているからである」(『祝福の山』 68 頁)。
6. 十戒は私たちに罪の自覚を生じさせ、救い主キリストへ導く
ローマ 3 : 20 ガラテヤ 3 : 24
7. 十戒は回復 救いの目的 エゼキエル 36 : 26-27
「もし、私どもがキリストにあり、神の愛が私どもの心に内住するならば、私どもの感情も、思想も、行動も、神のきよいおきてに現された神のみ心に調和するようになります」(『キリストへの道』 76 頁)